



# 9

## 史跡を大事に伝える工夫



■ 史跡をみんなに知ってもらうには、史跡をじっさいに見てもらうことが大事です。でも、山の中の道を歩くことになりますから、ころんでけがなどしないような道にしておかなければなりません。

■ また、だれが見てもわかるように、道案内や史跡を説明するかんばんがあることも大事になります。こうしたことをできるだけはやくととのえて、わかりやすくみんなに見てもらうように工夫します。

史跡でころんでけがをしないようにしないとね。





なか しせき あんない  
\* まちの中にある史跡かんれんのかんばん・案内

いろいろなかんばん・案内(1)



うさみ しせき あんない  
宇佐美の まちには 史跡にかんする かんばんや案内  
はだいぶ前まえから あちこちにあるのよ。  
これから もっとわかりやすいものに 作りかえていき  
たいわね。





- \* 左<sup>ひだり</sup> : 石<sup>いし</sup>にきざんだ道案内<sup>みちあんない</sup>
- \* 右<sup>みぎ</sup>上<sup>うえ</sup> : 大きなかんばん<sup>おお</sup>
- \* 右<sup>みぎ</sup>中<sup>なか</sup> : まち中の案内<sup>あんない</sup>
- \* 右<sup>みぎ</sup>下<sup>した</sup> : 石<sup>いし</sup>にきざんだ場所<sup>ばしょ</sup>のなまえと大きなかんばん<sup>おお</sup>

【色々なかんばん・案内(2)】



どんなかんばんや道案内<sup>みちあんない</sup>がいいかな。  
 史跡<sup>しせき</sup>に行<sup>い</sup>ってみたいくなるようなもの<sup>もの</sup>がいいな。



# 10

## 史跡を大事に伝えるためのしくみづくり



■ 史跡は、みんなで協力して伝えていくことが大事です。宇佐美、伊東にすんでいる人、市役所のひと、史跡のある土地をもっている人、史跡を研究する人、史跡を観光に活用する人などです。また、同じような史跡がある、ほかのまちとも協力します。

■ 色々な人が協力できるしくみをつくるために、つぎの3つのことを決めました。

みんなで力をあわせて史跡を伝えていくしくみが大事だね。



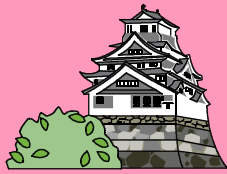
1 <sup>し やくしよ なか いろいろ ひと きょうりよく</sup> 市役所の中でも色々な人が協力  
<sup>く ふう</sup> できるように工夫します。

2 <sup>し せき</sup> 史跡を<sup>さき</sup>ずっと先まで<sup>つた</sup>伝えていくための  
<sup>く ふう</sup>工夫などについて、<sup>はな あ</sup>みんなで話し合い  
をすすめます。

3 <sup>きょうりよく</sup> みんなでじょうずに協力できるような  
<sup>く ふう</sup>しくみづくりを工夫します。

みんな！  
<sup>ちから</sup>力をあわせてね。





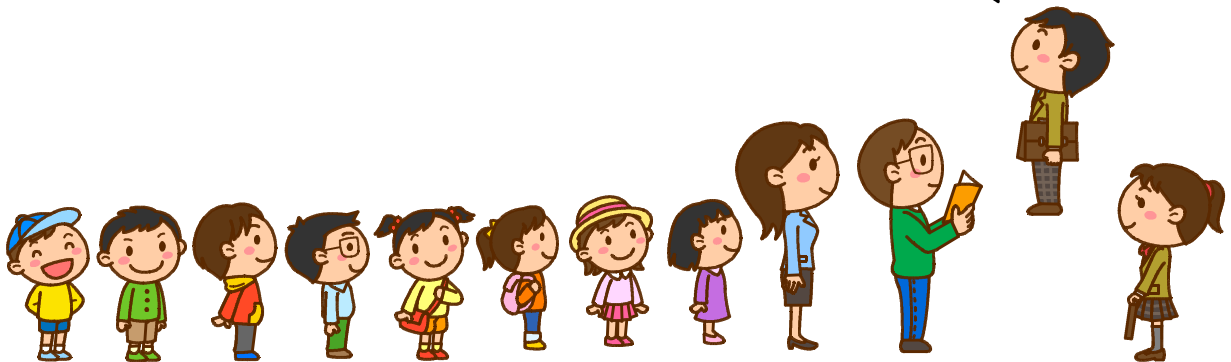
# 11

## 史跡を大事に伝えるためのこなまかな計画

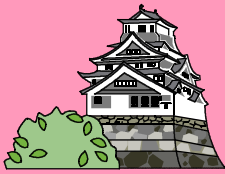


■ 史跡をずっと先まで伝えていくためには、この計画書をもとにして、いつまでに何をするかという、もっとこまかな計画をきめなければなりません。あと5年のうちには、色々なこまかなことをきめることにしていますが、5年をまたずに、きめたことはできるだけはやく実行していきます。

この「計画書」だけじゃなくてこれから もっと色々なことをきめていくんだよ。







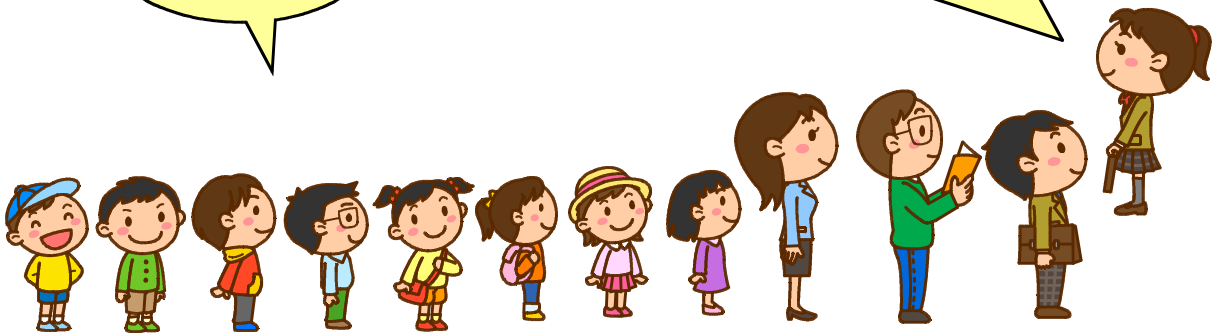
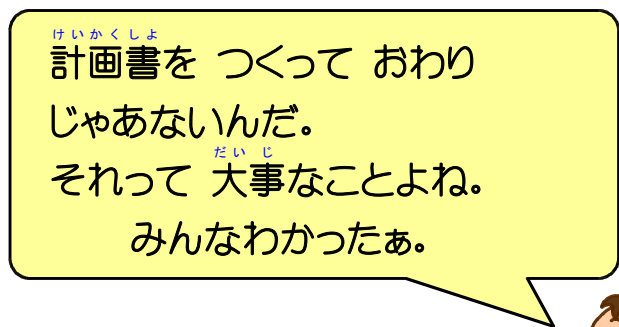
# 12

## 計画書のとおり すすんでいるか よくみる



■ 史跡<sup>しせき</sup>をずっと先<sup>さき</sup>まで大事<sup>だいじ</sup>に伝<sup>つた</sup>えていくには、この計画書<sup>けいかくしょ</sup>のとおり<sup>いろいろ</sup>に色々なこと<sup>いろいろ</sup>が行<sup>おこな</sup>われているか、進<sup>すす</sup>んでいるか、いつもよく見<sup>み</sup>ておかなければなりません。そして、ちがったこと<sup>おこな</sup>が行<sup>おこな</sup>われていたり、おくれ<sup>おこな</sup>ていたりした時<sup>とき</sup>には、それをなおさなければなりません。

■ そのために、よく見<sup>み</sup>なければならぬことをこまかくきめて、見<sup>み</sup>わすれがないようにします。









えどじょう いし  
江戸城の石がき

■ 発行日 令和 5年 3月 10日

■ この冊子をつくったところ 宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会

(理事長 森 篤)

静岡県伊東市宇佐美403-2 電話 0557-48-9534

■ ご協力していただいたところ 伊東市教育委員会

\* この冊子をつくるのに、伊東市から補助金をいただきました。

また、「一般財団法人伊豆屋伝八文化振興財団」から助成金をいただきました。

非売品 (この冊子は売っていません)